

第 1 回熊本交通圏タクシー協議会議事概要

日 時 平成 2 1 年 1 1 月 2 6 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0

場 所 熊本県タクシー会館 3 F 会議室

1 . 協議会設立の手続き

- ・「熊本交通圏タクシー協議会設置要綱」の承認
全会一致で承認
- ・構成員の紹介
- ・会長選出
久保熊本運輸支局長

2 . 第 1 回熊本交通圏タクシー協議会

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 事務局紹介

(4) 議 事

本協議会の目的について

熊本県のタクシー事業の状況について

本協議会の今後の検討の進め方について

質疑・タクシー協会長挨拶 (内容は下記のとおり)

その他

(5) 閉会

【質 疑】

適正車両数について、稼働率 9 0 % の場合、 8 5 % の場合の 2 種類の数字があったが、これは、九州運輸局長が 2 種類の数字を提示したものと受け止めて良いのか。

(回答) 適正車両数については、国の方で特定するのではなく、幅を設けて、だいたいこのくらいの間でということを設定している。九州では 2 種類、ちなみに東京では 3 種類を適正車両数としてお示ししている。

事業者が特定事業におけるハード面の整備、また、減車に取り組むにあたり、国の支援策や特別融資のようなものはないのか。

(回答) 補助制度の創設、税の特例の創設、政策金融の活用のサポート、貸し渋りがないように中小企業庁や金融庁への働きかけを想定。また、平成22年度要求として、特定事業の実施を促進するための補助制度を要求している。

特定地域の対象地域について、来年3月に植木町と城南町と合併するに当たり、適正車両数の算定根拠については変わるのではないかと思うが、今日、示された適正車両数については、現在の熊本交通圏のものということで良いのか。

(回答) 市町村の合併に伴う交通圏の考え方については、事務局としては、「合併された町も含む」という考えをもっておいた方が良く、今のところ思っている。

【(社)熊本県タクシー協会長 石崎委員 挨拶要旨】

私どもの業界も、この交通圏において数千名の乗務員を抱えているが、日々の營收が非常に落ち込んでおり、乗務員が正月をどのように迎えるのかという心配をしている。

また、このような困窮した、世知辛い世の中であるので、年末に悲惨な事件、事故等が起きなければいいなとも心配しており、乗務員の安全管理についても注意を促していかねばと思っている。

このような協議会ができ、これから我々業界が活性化・適正化に向けて、皆様の斬新な考えを聞かせていただき、我々業界も襟を正すところは正し、皆様方に愛され、安全かつ安心なタクシー業界にしないといけないと思っている。

私どもも、真摯に皆様方の意見を受け止めて、それを業界に取り入れて、利用者の方々に愛される業界をつくっていかうと思っているので、今後ともよろしくお願ひしたい。